



第55期 中間報告書

2016年4月1日－2016年9月30日





代表取締役社長
土居 悦郎

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお申しあげます。

第55期第2四半期連結累計期間（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、日頃の皆様の温かいご支援に対し心からお礼申し上げます。

今年度は、基本方針を「①確実な成長を遂げられる企業体質を構築する。②あらゆる可能性を切り拓いて各分野／領域を拡大する。」とし、運営方針である「①コネクタ・ハーネス・ラックの3事業を継続する。②新製品売上高を倍増させる開拓開発活動を行う。③海外市場を強化拡大する。（アジア、欧州市場の開拓）④車載市場を強化開拓する。（新顧客／新製品／新分野に注力）⑤工業・車載・遊技・画像・医療機器を注力市場とする。」を推進し、更なる価値創造に向けて活動してまいりました。

また、当社グループは注力市場の動向を見極め

た受注活動を展開するとともに、市場活動の中で付加価値製品の開発を行い、生産性を向上し原価低減、収益力を高めるよう努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45億62百万円（前年同四半期比7.9%減）、利益面につきましては営業利益3億27百万円（同40.8%減）、経常利益3億51百万円（同36.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億51百万円（同28.5%減）となりました。

引き続き、顧客活動の質・量を上げ商談発掘、商談成約を推進し、市場活動の中で付加価値製品の開発を行い、生産性を向上し収益力を高め、中長期的に成長し続けることができる企業となれるよう努めてまいります。

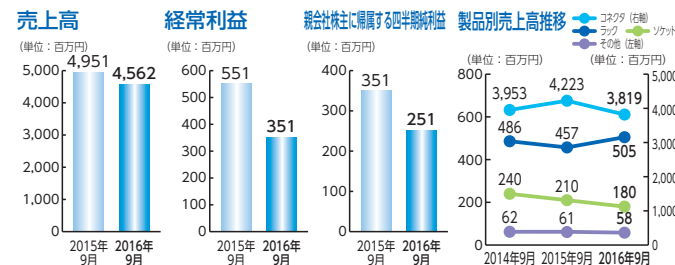
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

経営成績

工業・画像・車載・医療機器市場増加も、遊技機器市場の減少をカバーできず売上高減少

- コネクタ売上高につきましては、画像機器・車載機器・医療機器向け製品の売上高は増加したものの、遊技機器・産業機器・事務用機器向け製品の売上高が減少したことにより前年同四半期比9.6%の減少となりました。
- ラック売上高につきましては、電力・車輻関連製品、医療機器向け製品の売上高が増加したことにより前年同四半期比10.6%の増加となりました。
- 経常利益につきましては、製造経費・販売経費の節減等に努めましたが前年同四半期比36.3%の減少となりました。



通期の見通し

長期安定成長実現のため、会社、製品、人材の価値を創り出し、新たな成長ステージへ挑戦

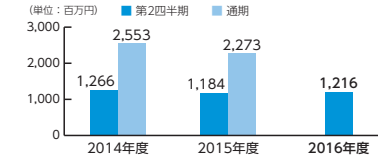
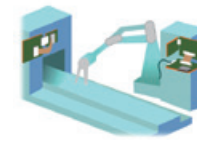
- 独自性商品（付加価値商品）の開発による社会への貢献と収益性重視の経営を目指す。
- 新製品の増加、商談発掘の倍増、市場創造・創出、人材育成、原価低減、品質確保など成長するための体質を作る。
- 柔軟で機動的な実行力ある組織の構築、人材配置を行う。
- 進取性に富む企業文化の浸透を図り、次世代へ繋ぐ人材の育成に努める。

2017年3月期 連結業績予想

売上高	9,500	百万円	(前期比 3.1 %)
営業利益	730	百万円	(前期比 △7.5 %)
経常利益	740	百万円	(前期比 △12.0 %)
親会社株主に帰属する当期純利益	470	百万円	(前期比 △11.1 %)

工業機器

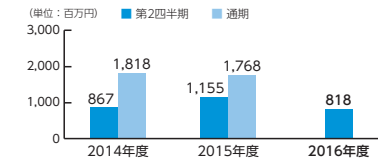
制御装置
半導体製造装置
車輻機器



売上高構成比26.7% 前第2四半期比2.7%増
新興国経済の減速等により、設備投資需要が減退しましたが、電力関連向け製品等の売上増加により、売上高は12億16百万円（前年同期比2.7%増加）となりました。

遊技機器

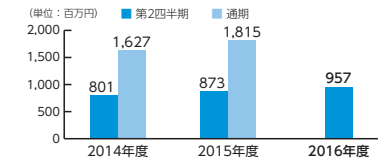
パチンコ
パチスロ



売上高構成比17.9% 前第2四半期比29.2%減
遊技業界の新たな入替え需要の減少により、売上高は8億18百万円（同29.2%減少）となりました。

画像機器

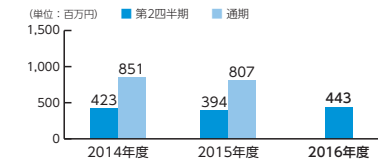
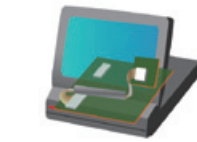
デジタルカメラ
デジタルビデオカメラ
監視カメラ



売上高構成比21.0% 前第2四半期比9.6%増
監視カメラ・デジタルカメラ向け製品等の売上増加により、売上高は9億57百万円（同9.6%増加）となりました。

車載機器

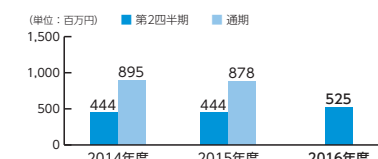
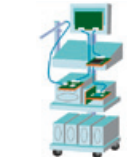
カーナビ
ITS関連



売上高構成比9.7% 前第2四半期比12.4%増
カーナビ向け製品等の売上増加により、売上高は4億43百万円（同12.4%増加）となりました。

医療機器

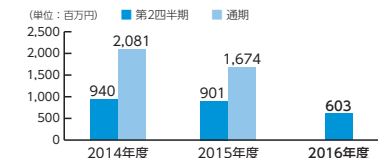
超音波診断装置
内視鏡
MRI用製品



売上高構成比11.5% 前第2四半期比18.2%増
医療機器向け製品全般で売上高は増加しました。特にCT・MRI向け製品等が伸長し、売上高は5億25百万円（同18.2%増加）となりました。

その他

複写機他



売上高構成比13.2% 前第2四半期比33.1%減
売上高は6億3百万円（同33.1%減少）となりました。

当社の製品は生活のさまざまなシーンで使用されています。

工場

●[制御機器・半導体製造装置]

コネクタ フローティングコネクタ
ハーネス ハーフピッチコネクタ
ラック ラック

ハーフピッチコネクタ
(8925Eハーネス)

病院

●[MRI・内視鏡・超音波診断装置]

コネクタ ハーフピッチコネクタ
ハーネス 極細同軸ケーブル用コネクタ
ラック ラック

極細同軸ケーブル用
コネクタ
(SSLハーネス)

ラック
(KCR)

自動車

●[カーナビゲーションシステム]

コネクタ フローティングコネクタ
ハーネス 極細同軸ケーブル用コネクタ

●[ETC]

コネクタ カード用コネクタ
フローティングコネクタ
(DYシリーズ)

カード用コネクタ
(ISCシリーズ)

アミューズメント

●[パチンコ・パチスロ]

コネクタ ICソケット
コネクタ クォーターピッチコネクタ

ICソケット
(LGC01シリーズ)

クォーターピッチ
コネクタ
(8600シリーズ)

鉄道

●[自動券売機]

コネクタ ドロワーコネクタ

●[車輦]

ラック ラック

●[ATC(自動列車制御装置)]

その他 光アダプタ

ドロワーコネクタ
(FAシリーズ)

家庭

●[デジタルカメラ・ビデオカメラ]

コネクタ フローティングコネクタ
ハーネス 極細同軸ケーブル用コネクタ

フローティングコネクタ
(DUシリーズ)

極細同軸ケーブル用
コネクタ
(XSLハーネス)

銀行

●[監視カメラ]

ハーネス 極細同軸ケーブル用コネクタ

●[ATM]

ハーネス ドロワーコネクタ

極細同軸ケーブル用
コネクタ
(USLSハーネス)

ドロワーコネクタ
(FAハーネス)

オフィス

●[複合機]

ハーネス 極細同軸ケーブル用コネクタ

●[エレベーター]

コネクタ ハーフピッチコネクタ

極細同軸ケーブル用
コネクタ
(TMCハーネス)

ハーフピッチコネクタ
(8800シリーズ)

製品カテゴリー

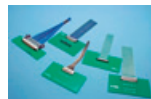
コネクタ

小型化、高密度化、高速伝送対応等を生かした開発コンセプトで、充実したバリエーションと多彩なシリーズを展開しています。



ハーネス

フラットケーブル、丸ケーブル、ディスクリートケーブルなど、さまざまなケーブルを使用したハーネスの開発を行っています。



ラック

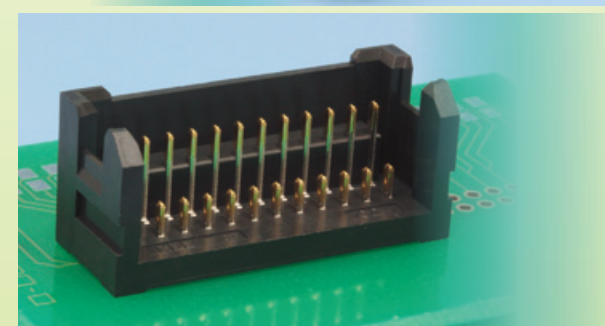
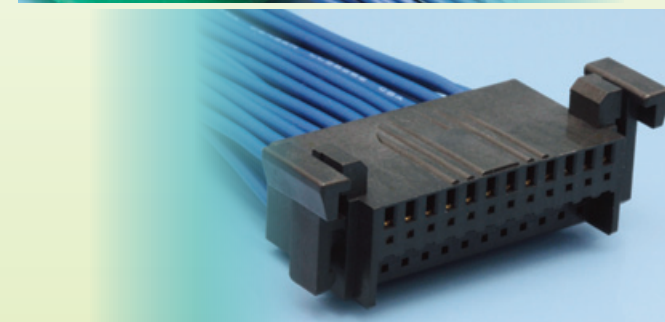
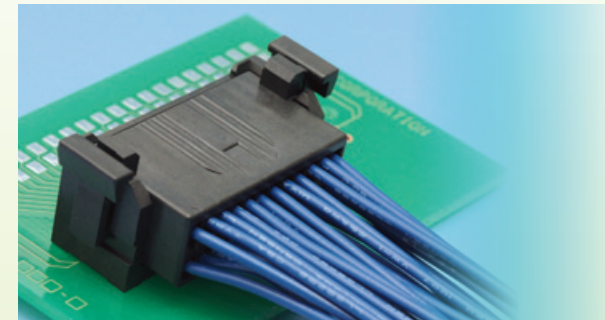
標準バスラックシステムを中心に、オリジナルラックシステムの開発にも柔軟に対応しています。



その他

光アダプタやASSY治具（圧接、圧着等）を製造しています。また、コネクタの抜き治具等の開発も行っています。

FBCシリーズ2mmピッチ ディスクリートケーブル用 コネクタ圧着タイプ



主な特長

- スタック接続、ケーブル横出しタイプ
- ロック形状は脱着時つまんで引くだけの操作性の優れたE-ロック機構を搭載
- 挟み込み2点接触構造、安定した接触力
- ケーブル接続 圧着タイプ
- 極数バリエーション 26、36、40極
- RoHS対応品

FBCシリーズはスタック接続ケーブル横出しタイプにすることで、ケーブルを這わせる際のケーブルへのストレスを軽減でき、機器の無駄なスペースを削減できます。また、コネクタ抜きの際に、ケーブルに力がかからない為、ケーブル抜けがない利点があります。

嵌合ロックは独自のE-ロック機構を備えており、コネクタの着脱ではケーブル側コネクタを基板側コネクタに合わせコネクタの中心を指で押すだけで嵌合でき、ロックの両端を持ち引くだけで抜きができるという作業性・操作性を考慮した機構になっています。嵌合ロック機構の為、嵌合抜きを防止し安定した接触を保持できます。

定格電流は、3Aを確保、ケーブルはAWG22～26のディスクリートケーブルに対応し、ケーブルの結線は圧着タイプです。ケーブルとの接続を一般的な圧着治具で接続できるようにするなど、作業者の要求を考慮した製品です。

四半期連結財務諸表（要約）

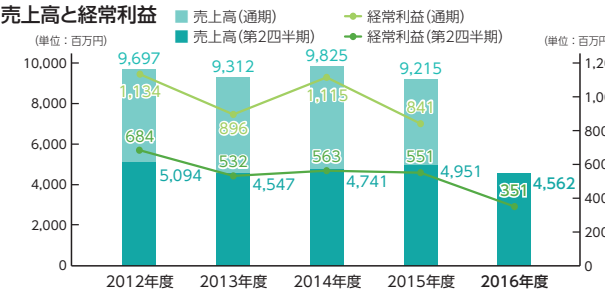
四半期連結貸借対照表

科 目	(単位：千円)		
	前期末 (2016年3月31日現在)	当第2四半期末 (2016年9月30日現在)	増減金額
<資産の部>			
流動資産	7,533,556	7,679,877	146,321
固定資産	6,063,312	5,919,718	△ 143,594
有形固定資産	4,595,308	4,450,988	△ 144,320
無形固定資産	94,155	99,926	5,771
投資その他の資産	1,373,848	1,368,803	△ 5,045
資産合計	13,596,868	13,599,596	2,728
<負債の部>			
流動負債	2,398,754	2,380,526	△ 18,228
固定負債	692,174	657,783	△ 34,391
負債合計	3,090,928	3,038,310	△ 52,618
<純資産の部>			
株主資本	10,414,297	10,549,236	134,939
その他の包括利益累計額	91,642	12,049	△ 79,593
純資産合計	10,505,940	10,561,286	55,346
負債純資産合計	13,596,868	13,599,596	2,728

※1

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位：千円)	
	前第2四半期 (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	当第2四半期 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	520,083	132,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 314,441	△ 326,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 312,807	△ 215,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 546	△ 54,255
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 107,713	△ 463,159
現金及び現金同等物の期首残高	3,187,539	3,175,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,079,826	2,712,263



四半期連結損益計算書

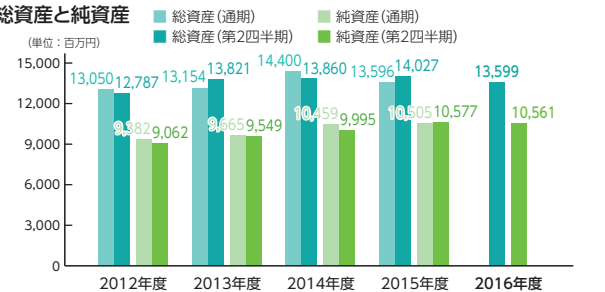
科 目	(単位：千円)		
	前第2四半期 (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	当第2四半期 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	増減金額
売上高	4,951,992	4,562,264	△ 389,728
売上原価	3,561,001	3,411,271	△ 149,730
売上総利益	1,390,991	1,150,993	△ 239,998
販売費及び一般管理費	838,093	823,894	△ 14,199
営業利益	552,898	327,098	△ 225,800
営業外収益	17,636	28,229	10,593
営業外費用	18,935	4,230	△ 14,705
経常利益	551,599	351,097	△ 200,502
特別損失	314	707	393
税金等調整前四半期純利益	551,285	350,390	△ 200,895
法人税、住民税及び事業税	187,506	129,171	△ 58,335
法人税等調整額	11,872	△ 30,294	△ 42,166
法人税等合計	199,378	98,877	△ 100,501
四半期純利益	351,906	251,513	△ 100,393
親会社株主に帰属する四半期純利益	351,906	251,513	△ 100,393

※2

※3

POINT

- ※1 現金及び預金ならびに受取手形及び売掛金等が減少しましたが、電子記録債権ならびに原材料及び貯蔵品等が増加したことにより増加しました。
- ※2 為替差益等により増加しました。
- ※3 前期に為替差損等があったため減少しました。



会社の概要・株式の状況 (2016年9月30日現在)

会社概要

商 号	ケル株式会社
英 文 社 名	KEL CORPORATION
設 立	1962年（昭和37年）7月23日
資 本 金	16億1,700万円
従 業 員	287名
事 業 目 的	電気機械器具、精密機械器具、合成樹脂製品、化学製品、各種金属工業製品および雑貨類の製造、売買ならびに輸出入、その他附帯業務
ホームページ	http://www.kel.jp

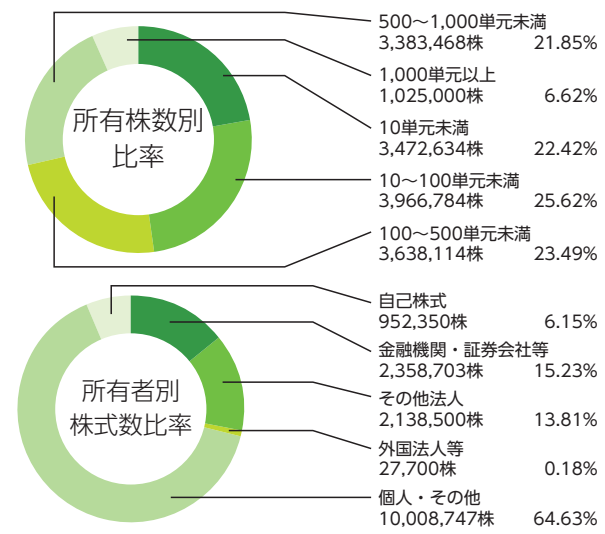
役 員

代 表 取 締 役 社 長	土 居 悦 郎
常 務 取 締 役	島 田 明
取 締 役	白 倉 勝
取 締 役	三 國 武 幸
社 外 取 締 役 （常 勤 監 査 等 委 員）	菊 地 英 俊
取 締 役 （監 査 等 委 員）	橋 本 芳 明
社 外 取 締 役 （監 査 等 委 員）	泉 澤 大 介

株式数および株主数

発行可能株式総数	63,000,000株
※2016年10月1日を効力発生日とする株式併合（2株を1株に併合）を行いました。この結果、当中間報告書作成時点では30,000,000株になっております。	
発行済株式の総数	15,486,000株
※2016年10月1日を効力発生日とする株式併合（2株を1株に併合）を行いました。この結果、当中間報告書作成時点では7,743,000株になっております。	
株主数	2,086名

株式分布状況



株式併合および単元株式数の変更に関するお知らせ

当社は、2016年10月1日を効力発生日として、株式併合および単元株式数の変更を行いました。
なお、株主の皆様におかれましては、特に必要なお手続きはございません。

- ◆株式併合..... 当社の株式について、2株を1株の割合で併合いたしました。
この結果、1株に満たない端数株式が生じた株主様に対しましては、これに相当する金額を、今回の中間配当金とあわせてお支払いいたします。
- ◆単元株式数の変更..... 株主総会の議決権の単位であり、証券取引所においての売買単位である単元株式数を、1,000株から100株に変更いたしました。

- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 6月
- ◆ 基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
- ◆ 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話(通話料無料)0120-232-711

- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 公告の方法 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
(当社のホームページ
<http://www.kel.jp/investor/index.html>
に掲載しています。)
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所 ジャスダック市場

ネットワーク

- 本社 東京都多摩市永山六丁目17番地7
〒206-0025 TEL : 042-374-5810
- 事業所

山梨事業所	山梨県西八代郡市川三郷町
長野事業所	長野県北安曇郡池田町
南アルプス事業所	山梨県南アルプス市
- 営業所

宇都宮営業所	栃木県宇都宮市
水戸営業所	茨城県ひたちなか市
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区
大阪営業所	大阪府大阪市淀川区
- 駐在員事務所

北米駐在員事務所	米国カリフォルニア州
欧州駐在員事務所	ドイツ デュッセルドルフ
- 海外子会社

旺昌電子股份有限公司 (ケル台湾)
科陸電子貿易 (上海) 有限公司 (ケル上海)

ホームページのご案内



<http://www.kel.jp>

最新のニュースや企業情報、製品情報など、
様々な情報をご覧いただけます。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。